



大淀中だより

学校教育目標 「自主・自律の態度と共生の心を育成する」

京都市立大淀中学校

学校だより⑨

令和4年(2022) 12月22日

校長 川上 貴由

ヒューマンタイム講演会(人権学習)

12月は人権月間

です。本校では、“自己理解の深さが他者理解の深さにつながる”ということを大切にしており、自分を



知ることによって他者を思いやる気持ちにつながり、そのことが人権感覚の向上につながると考えています。7日(水)には、大淀地域生徒指導連絡協議会主催の「ヒューマンタイム講演会」が全校生徒・保護者・地域の方々対象に行われました。心理カウンセラーの矢部裕貴さんをお迎えし、自己対話・セルフトークの大切さについて講演をして頂きました。多くの生徒が積極的に質問するなど、有意義な講演会になりました。

(1年生 生徒作文)

自分のことを見直したり共感したりする。自分にとって大切な機会になったような気がしました。

「自分を良く知る」「どんな自分でも認める」「どんな自分でいたいのか決める」の3つと、「自分に良い質問をする」「自分が嬉しい言葉を人に使う」「自分のことを客観的に見るクセをつける」という3つを大事にしたいと思い、自分が人に求めることを自分でやっていけるよう行動したいと思いました。また、「目の前の人が自分の心の中を教えてくれる」という言葉から、目の前の人、友達、家族など多くの人を大切に生きていきたいと思いました。

(2年生 生徒作文)

講演会を聴いて、人に使う言葉は自分にも使ったり思ったりしていることだと初めて知りました。あと、自分を客観的に見るクセをつけるというのは、自分もして、もし周りの人だったら今の自分は良くないことをしているなと思ったり、もっとこうしたら良いと思ってもらえるなと思っています。それをもっと良くするために、自分が犠牲になるのではなく自分も相手もお互いにハッピーになるようにしたい。人生の最大の味方は自分自身で、自分が変わるには自分で変えるしかないし、自分がどんな人かというのを知ること、相手にも自分にも優しくできるようになりました。心→行動→結果というのを知って良い事を考えると良い結果がついてくると分かりました。

(3年生 生徒作文)

自分を人生の最大の味方にするには、まず自分を知りどんな自分でも認めてあげ、どんな自分でいたいか決めることが重要なんだと思った。

自分で〇〇したいと心に思っていることは現実になったり、もし嫌な人が現れたら、その人に対する思い込みを見直すチャンスなんだなと気づけた。

セルフトークの質を上げるためには、自分にいい質問をし、自分が嬉しい言葉を人に使い、自分のことを客観的に見るクセをつけることで質が上がることを知った。その中でも、自分を客観視することが自分の中で大切だなと思った。

◆◆ 1組 合同体育大会 ◆◆



11月25日(金)

に、体力向上・集団活動の中でより豊かな人間関係の広がりを作ることを目的として「第62回合同運動会」が島津アリーナ京都で

行われました。大淀中学校からは5名の生徒が参加しました。新型コロナウイルスの影響により、徒競走と玉入れの2種目にしぼって実施されましたが、5名の生徒達は、力一杯走り、玉入れでは協力しながら頑張りました。参加した全員に賞状が配られました。

●●● 税についての作文 ●●●

全国納税貯蓄組合連合会および国税庁主催による「中学生の『税についての作文』」にて、夏休みの宿題として取り組んだところ、3年生4名の生徒が優秀として入賞しました。入賞した生徒は、23日の終業式で表彰します。

京都府納税貯蓄組合総連合会 会長賞

3年2組 H・Yさん

公益社団法人伏見納税協会 会長賞

3年2組 Y・Aさん

近畿税理士会伏見支部長賞

3年5組 M・Yさん

伏見納税貯蓄組合連合会 奨励賞

3年3組 S・Yさん

♪♪小学生 授業・部活動体験♪♪

12月2日(金)に、明親小学校と美豆小学校の6年生が授業体験と部活動体験・見学を行いました。生徒会本部の生徒の自己紹介に始まり、6つのグループに分かれた体験授業では、緊張した様子でしたが活発に発表をしていました。続く部活動体験・見学では、授業が少し延びたこともあり短い時間でしたが、2年生・1年生と一緒に活動しました。



■■■NUMO とのコラボ授業■■■

NUMO(原子力発電環境整備機構)から2名の講師に来て頂き、2年生の技術・家庭科の授業とコラボ授業を行いました。原子力発電所から出たゴミ(高レベル放射性廃棄物:ガラス固化体)の処分方法である地層処分について「もし、家の近くで地層処分を実施してもよいですか?」というテーマで考えました。グループで対話・議論しながら考え、合意形成することの難しさを実感しました。



▼▼▼研究授業(1年4組)▼▼▼

12月8日(木)に、1年4組で音楽の研究授業が行われました。大淀中学校では、年3回、外部講師をお招きし教員の授業力向上に向けた研修を行っています。今回は、ギターの演奏が授業内容でした。研究授業のあと、授業の総括を教員がお互いに行うと共に、外部講師からの講義を受けながら指導の質を向上させました。



冬休み中の新型コロナウイルス感染について

「冬季休業期間中の健康管理について(12月20日付配布プリント)」でもお知らせさせて頂きましたが、以下の点についてご留意お願いいたします。

【以下の場合、学校に連絡して下さい】

- お子様が、新型コロナウイルス感染症と診断された
- お子様や同居されているご家族に感染の疑いがあり、検査を受けるように医師などから言われた
- ご家族などが感染され、お子様や同居されているご家族が濃厚接触者として検査や経過観察が必要であると医師などから言われた

テレビ会議システムを活用した国際交流

12月9日(金)に、アフリカのマラウィ共和国の子どもたちとテレビ会議システムを使って交流しました。海外の文化や暮らし、エネルギー事情、環境問題などを知ることができました。大淀中学校からは、技術・家庭科で制作したエネルギー・環境問題に関する絵本を英語で読み聞かせしました。マラウィの子ども達も日本語で「ありがとうございます」「よろしく願います」と話してくれるなど、3年生の生徒達にとって貴重な経験となりました。



*12月27日~1月3日は学校閉鎖となりますので、この期間に上記の内容が起きましたら、1月4日(水)8:20以降に学校に連絡して下さい。

【健康観察票の取扱について】

学校から配布いたしました「健康観察票」は、冬休みの間も毎日朝晩、体温を測定し記入して下さい。部活動などで登校される場合は、「健康観察票」をお子様に持参して下さい。「健康観察票」は、冬休み明けの1月5日に学校で回収させていただきます。



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「**京都はぐくみ憲章**」を实践しましょう!



1月6日(金)は、市場の影響で給食がありませんのでご注意ください。